

沖縄がら世界へ

読谷小學校六年

城間 紀向

みなさんは平和の礎がなんだかわかりますか。平和の礎は戦争で亡くなつた多くの人の名前が刻まれてゐる場所です。

もちろん敵味方関係なく戦争で亡くなり身元がわかつた人のすべてです。

その中で亡くなつた人数が一番多いのが一般人です。なにも関係の無い人が殺されたはげしい戦争が今から七十三年前の沖縄では

あつたのです。

緑豊かな畑は火の海に人々の笑い声は恐怖の叫び声に変わつた戦争。

食べ物が無く餓死する人が米軍につかまり苦しむのなら自決した方がいいと死ぬ人もい

た戦争。家族との幸せな時間をこわし悲しみに変えるだけの戦争をなせ行なつたのたろう

もし、自分が戦争のころに生まれていたら

生きていけないと戦争の事を考えるたびに思ひます。

僕には、弟が一人います。いつもは、ゲームのうばい合いでケンカをしたり食べ物のうばい合いでケンカばかりします。このような小さなケンカから時がたつにつれ大きな争いにつながると思っています。今の自分にできる事はまず、だれとでも仲良くしコミュニケーションをとる。二つ目は、社会を知る事です。ニュースを見たり新聞を見てから今世界のどこで何があるかなどを知る事です。

そして、勉強をする事も平和を守る大事なことです。もし日本とどこかの国が戦争しそうになったら時に役立つのが勉強です。いろいろな国の言葉をしゃべれると、争いがおこる前に話し合いでとめる事ができるかもしれないからです。戦争体験者の数はどんどん減っています。周りにいる体験者の話しを聞いてしっかり後

平和は百年続かないと言われ
てきます。でも、僕達でし
かりと後の時代の人に戦争
はどんなものなのか、二度と
してはいけない事だと伝え
ていきましよう。